

天沼小だより

文責

校長 大里 忠弘



交通安全教室を実施しました

6月24日(水)、交通安全教室を行いました。1年生、2年生は、警察官1名、交通安全ヘルパー4名、交通指導員5名、総勢10名の方のサポートをいただき、道路の安全な歩き方、交差点や路地での安全確認について、実際の道路で学習しました。

交差点や路地の地点に、交通指導員さんが立ち、周囲の安全を確保してくださり、ヘルパーさんたちが細かく、ていねいに指導してくださいました。子どもたちは、立ち止まって左右の確認、右手を高く伸ばして横断、といったことに、普段にましてしっかりと注意して歩きました。毎日の登下校や家庭からの外出の時にも、今日のように十分注意して、交通事故から身を守ってほしいと思います。

3年生、4年生は、それぞれの教室で交通安全に関するビデオ動画を観て、事故防止について考えました。



ミニトマトの成長記録



2年生の生活科、ミニトマトの成長記録を書いています。葉の形や付き方、色、手触り、匂い。花の色や形、大きさなど、気づいたことをメモに残し、スケッチもします。こうした観察力は、3年生からの理科学習の基礎になります。小さな実を見つけた子は、「あった、あった」と嬉しい声をあげています。

水やりをすっかりしていた子の鉢は、葉の茂り方に元気がないようです。甘く、大きな実がつくように、お世話もしっかりしてください。ミニトマトの鉢が、普段使う玄関や、教室からも離れているので、水やりをつい忘れてしまう子もいるようです。植物も生き物です。お世話や管理、自分に任された仕事に責任を持って取り組む習慣を身につけることは、生活科という学習のねらいでもあります。ご家庭でも、お子さんは何か任されている役割がありますか？

マデリン先生から正しい発音を学びます

右の写真は、4年生の英語活動の授業。アメリカ出身のマデリン先生の話す英語を聞いて、正しい発音を覚えます。「教室は間違えるところ」を合い言葉に、失敗や間違いを怖がらずに、元気に声を出すように指導しています。



裏面にコロナ対策についてのお願いがあります。

感染症対策協力をお願い

新型コロナウイルス感染症関連の報道を目にしない日はありません。本校においても、毎朝の検温、校舎内各所の消毒、換気、児童の手洗い指導の徹底、マスク着用指導の徹底など、できる限りの対応策を講じております。ご家庭におかれましても、きめ細かい感染予防対策と、お子さんへの指導にご協力をいただいております。感謝いたします。

おかげさまで、本日現在、桐生市内の学校関係者に新型コロナウイルスの感染者は確認されておられません。

国、群馬県ともに警戒度レベルは1とされております。これを受けて、桐生市教育委員会から、新たに『学校の新しい生活様式』に対応した桐生市立学校教育活動マニュアル』が発出されました。

本マニュアルには、これまで行っていなかった活動についても、適切な感染防止対策を講じながら実施する方向で検討することを基本方針とするとされています。

また、本校では、感染症対策の3つのポイント「感染源を絶つ」「感染経路を絶つ」「抵抗力を高める」を踏まえ、児童生徒、家族、教職員の健康観察の徹底、手洗いや咳エチケットなどの徹底、運動や各行事をはじめとしたバランスのとれた教育活動の実施や児童生徒の心身のケア、家庭での栄養や睡眠等の配慮などを重点とした取組を行っていきます。

今後、各教科の授業のあり方の見直しをはじめ、運動会や修学旅行といった主要な学校行事の開催の可否についても検討しているところです。

大きな学校行事の開催は、このまま感染者が出ないことを前提として考えなければなりません。学校内にコロナウイルスを持ち込まず、感染者を出さない状態を維持するためには、学校内での感染防止対策のさらなる徹底と併せて、各ご家庭においても、ご家族も含め、感染防止に一層のご注意とご協力をいただく必要があります。

運動会、修学旅行といった、子ども達にとって大切な思い出づくりとなる大きな学校行事は、是非とも開催する方向で検討をしているところです。

東京をはじめとした、首都圏における新たな感染者についての報道が連日されており、不安を覚える感もありますが、本校関係者の皆様には、なお一層の感染防止対策にご尽力いただき、各種学校行事が開催できますよう、ご協力をお願いいたします。